

美術作家・森太三（もり・たいぞう／大阪・1974年～）は、1999年に京都精華大学大学院美術研究科立体造形専攻修了以降、2006年の「クリテリオム69」（水戸芸術館・茨城）や、2011年の個展「空を眺める」（GALLERY wks.・大阪）などのギャラリーや美術館での発表に留まらず、2009年の「越後妻有アートトリエンナーレ」において小学校の床全面を紙粘土で敷きつめたインスタレーションをはじめ、2012年には和室空間を持つギャラリー揺（京都）や、昭和初期建築である常懷荘（愛知）での展示など、多様な場所・空間での発表にも積極的に取り組んでいます。とりわけ空間の持つ性質を丹念に見極め、身近な素材と手仕事の積み重ねによって、その場が持つ特性を過不足なく取り込んだインスタレーションは、そこに作業性や反復性を超えて「ある風景」をつくり出します。

例えば、衛星からの気象図に見る雲のカタチ、地上から眺める空模様の変化、揺らめく波間の見せる光の反射など、「自然」のうつろいは常に目の前に一瞬のカタチとしてありながら、いずれも記憶にとどめるのは難しく、私たちはそれらを曖昧なもの＝風景として認識しているといえます。

「記憶と気象」と題する本展は、外光によって変化するギャラリー空間に、まるで大きなドローイングイメージを描くように無数の紙片が配され、そこにある風景を広げます。一見するとその風景には、時間が静止したかのような静謐な印象を受けるかもしれませんが、しかし、鑑賞者の視点や距離、その日の天気による外光の変化がもたらされるに従い、重なりあった紙片のカタチは曖昧となり、光の反射の違いによる様々な階調が混じり合っていく様を見ることができます。また、そこに激しくうごめく雲海や、寄せては消える波のようなイメージを重ねた時、目の前の風景に働く大きな「モーメント＝動き」をも見ることができます。

会場内には「記憶と気象」の関わりを示唆するドローイングやオブジェクトが配され、鑑賞者は目の前の風景を見やり、歩き、留まり、あるいは寝転がったりするうちに、いつしか内なる記憶を手繰り、そこに「何かのような」風景を、あるいは自身の心象を重ねた「まったく新しい」風景を見つけるかもしれません。

## 森太三 MORI Taizo

### 【ステートメント】

指先から伝わる感触は、生への深い欲求のような、身体の深い記憶とつながっている。

集合と配列。無意識の繰り返しから、予測できない風景が立ち現れる。

1974年 大阪府生まれ

1999年 京都精華大学大学院美術研究科立体造形専攻修了

### 【おもな個展】

- 1996 「amulet」ギャラリーマロニエ / 京都
- 1997 「CHANGE」ギャラリーココ / 京都
- 1999 「unknown」ギャラリーそわか / 京都
- 2003 「future」ギャラリーココ / 京都
- 2004 「sea change」GALLERY wks. / 大阪
- 2006 「Sky mountains」ギャラリーwks. / 大阪
  - ― 「クリテリオム69」水戸芸術館 / 茨城
  - ― 「起伏のはざま」大阪成蹊大学芸術学部スペースB / 京都
- 2009 「Rain」neutron / 京都
  - ― 「世界の果て」PANTALOOM / 大阪
- 2010 「果たすことの連続」neutron tokyo / 東京
- 2011 「Rain to Rain」neutron kyoto / 京都
  - ― 「空を眺める」GALLERY wks. / 大阪
- 2012 「森を眺める」阪急メンズ館 / 大阪
  - ― 「海を眺める」ギャラリー揺 / 京都

### 【おもなグループ展】

- 1995 「THE LIBRARY」ギャラリーそわか / 京都
- 2001 「アモルファス・アイ／不定形の〈私〉」京都芸術センター
- 2002 「京都府美術工芸新鋭選抜展」京都府京都文化博物館
- 2006 「裏・アートマップ」京都芸術センター
- 2007 「Japanese Suppleness」Gjethuset / デンマーク
  - ― 「Art Court Frontier 2007 # 5」アートコートギャラリー / 大阪
  - ― 「I meet…」今村源×森太三 CASO / 大阪
  - ― 「彫刻 包摂される空間」成安造形大学アートサイト / 滋賀
- 2008 「アーツ・チャレンジ2008」愛知芸術文化センター
  - ― 「なんたんアートリンク」丹波国分寺庫裏 / 京都
  - ― 「Art Camp 2008」サントリーミュージアム[天保山] / 大阪(招待作家)
- 2009 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2009」旧枯木又分校 / 新潟
- 2010 「丹波国分寺跡アートスケープ」丹波国分寺跡 / 京都
  - ― 「ULTRA003」SPIRAL / 東京
  - ― 「萬福寺芸術祭-EN-」萬福寺 / 京都(招待作家)
- 2011 「ULTRA004」SPIRAL / 東京
- 2012 「House of DNA 森太三・入谷葉子」neutron tokyo / 東京
  - ― 「うつせみ」常懷荘 / 愛知
  - ― 「うたかた」アートラボあいち / 愛知
- 2013 「HOME PARTY」みずのき美術館 / 京都
  - ― 「水月のしつらえ」白白庵 / 東京

その他、ワークショップや展覧会企画・アートディレクションなど多数

